

そのとき、あなたがとるべき避難行動は？

近年、災害は激甚化・多発化している傾向にあるといわれています。そのような中、速やかな避難をしていただくため、防災情報の意味を直感的に理解しやすいよう、警戒レベルが設定されています。

町や気象庁から発表される情報に注意し、早めの避難を心がけましょう。

警戒レベル	状況	行動を促す情報	住民がとるべき行動	警戒レベル相当情報
5	災害発生 または切迫	緊急安全確保 ※町が発令	命の危険 直ちに安全確保!	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報
<<<<<< 警戒レベル4までに必ず避難 >>>>>>				
4	災害のおそれ高い	避難指示 ※町が発令	危険な場所から 全員避難	・土砂災害警戒情報 ・危険度分布「非常に危険」(うす紫) ・氾濫危険情報
3	災害のおそれあり	高齢者等避難 ※町が発令	危険な場所から 高齢者等は避難	・大雨警報(土砂災害) ・洪水警報 ・危険度分布「警戒」(赤) ・氾濫警戒情報
2	気象状況悪化	大雨・洪水注意報 ※気象庁が発令	自らの避難行動を確認	・大雨注意報 ・洪水注意報 ・危険度分布「注意」(黄) ・氾濫注意情報
1	今後の気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 ※気象庁が発令	災害への心構えを高める	・早期注意情報(警報級の可能性)

令和2年7月豪雨災害の際には、堀内地区の一部に避難指示が出され、農村環境改善センターに避難所を開設しました。

自主防災組織へ参加を

～本町の組織率は97.8%～

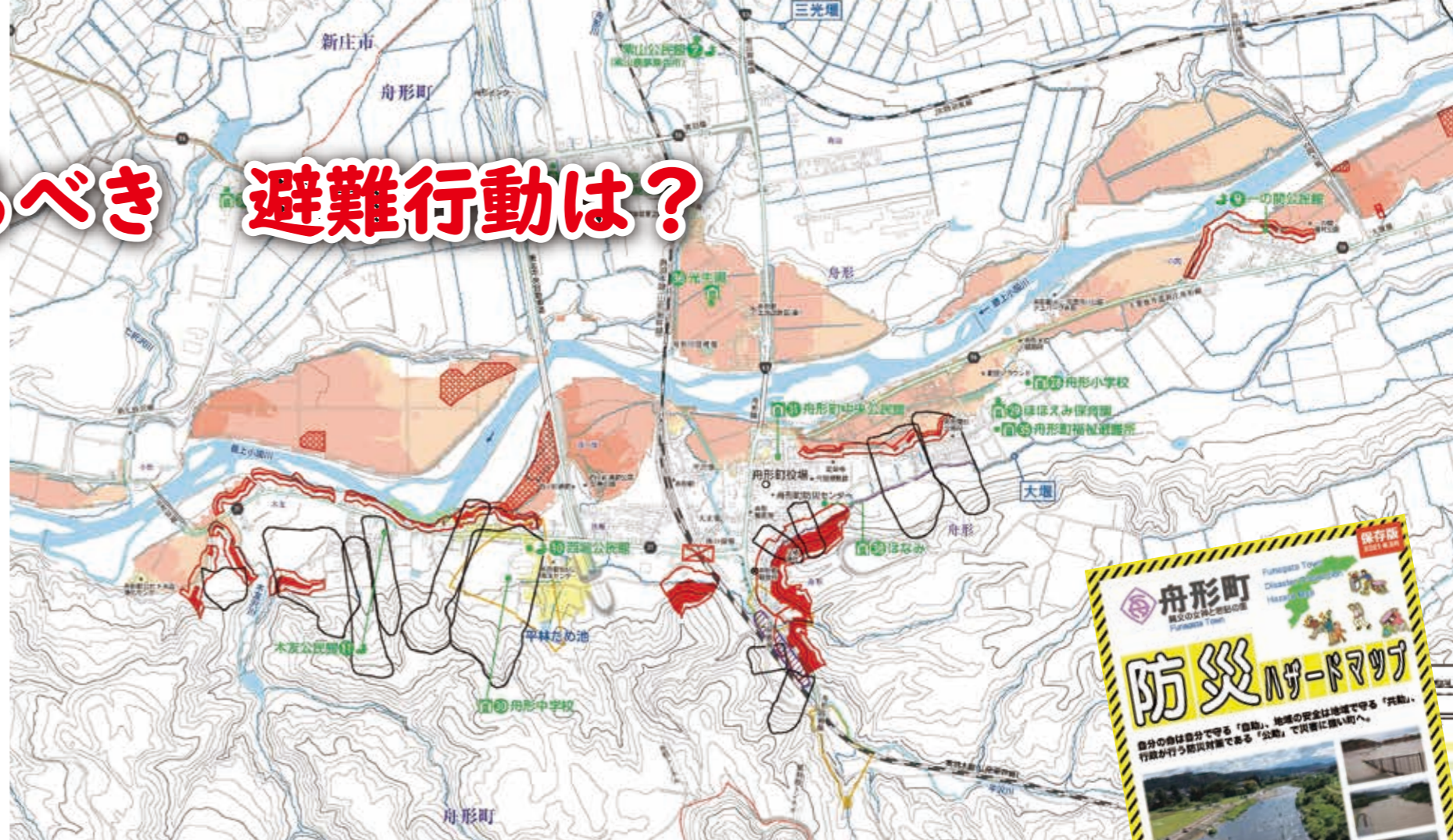
大規模な災害が発生した場合には、役場や消防・警察などの公的機関だけでは対応できない事態も考えられます。

町内会や自主防災組織を中心に、地域のみなさんの参加のもとで防災訓練を行い、いざという時にはすぐに行動できるよう備えておくことが大切です。



福寿野自主防災組織の避難訓練

▼問い合わせ／舟形町住民税務課危機管理室 ☎(32)0155



「避難行動判定フロー」

自宅にある「防災ハザードマップ」を確認しましょう。「自らの命は自ら守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと、とるべき行動を確認しましょう。

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

はい

町から「避難指示」等が発令された場合は、原則として、自宅の外に避難が必要です。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

いいえ

町が指定している指定避難所に避難しましょう。

※ハザードマップは、浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも、災害が起こる可能性はあります。

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。



町職員による避難所開設訓練

【舟形町指定避難所】

対象地区	施設名
長沢地区	生涯学習センター
舟形地区	舟形小学校 中央公民館
富長地区	富長交流センター
堀内地区	農村環境改善センター